

その他の対策 1						
削減手段	市内供給ガスの天然ガス化					
内容・算出根拠	2005年に市内で供給される都市ガスが天然ガス化されたため、LPガスに比べ熱量あたりのCO ₂ 排出量が削減された。2010年にはその分を加味し、それ以後は都市ガス供給世帯が10年で30%程度ずつLPガス供給世帯を置き換えていくものとして試算する。					
削減量単位	0.01 kg - CO ₂ /MJ					
導入コスト	不明(ガスパイプラインなどのインフラ整備が必要)					
CO ₂ 削減コスト	不明					
対象	市内で供給されるガス					
目標	2010	—	2020	—	2030	—
CO ₂ 削減量		3,246 t-CO ₂		3,608 t-CO ₂		4,079 t-CO ₂

その他の対策 2						
削減手段	グリーン電力の導入					
内容・算出根拠	福生市以外で発電されたグリーン電力(再生可能エネルギーから発電された電力)を導入する。 2010年時点での国の新エネルギー等電力(グリーン電力に相当)導入目標値 1.35%。 同じく公共施設での電力へのグリーン電力比率を3%とする。 2020年では福生全域で10%、2030年には同じく20%とする。					
削減量単位	0.378 kg - CO ₂ /kWh					
導入コスト	不明(現状では数円/kWh)					
CO ₂ 削減コスト	5円/kWh とすると、13,200円/t-CO ₂					
対象	市外で発電され、市内に供給される電力					
目標	2010	公共施設購入電力の3%	2020	市外電力の10%	2030	市外電力の20%
導入量		3,249MWh		16,025MWh		4,779MWh
CO ₂ 削減量		1,228 t-CO ₂		6,058 t-CO ₂		1,806 t-CO ₂